



くぬぎ通信



2019年10月発行 第343号
市原第7団ボーイ隊長 土橋一弘
2019年10月度テーマ ; 風をうけて

9月度 隊活動

来年8月の夏季キャンプに向けて「新たなる出発」となる隊集会を実施しました。

これまでのキャンプの状況について、班長たちは「立ちかまどなどの設営や食事づくりに時間がかかりすぎる」「班内の分担ができていない」「協力意識が低い」など多数の反省点が出されていました。

そこで、反省点を反映した年間計画を作り、まずは基本的な技能を習得すべく基礎訓練を実施しました。

- ・進級課目のロープワークを基本。特に立ちかまど設置に必要な技術。
- ・安全な薪割りの方法。
- ・確実に短時間で薪に火を着ける方法。
(そもそも火が着かないと食事につくれない)

ひとりひとりが必要な技能を持っていれば、設営でも最小限の人数で分担作業ができる。

班長が付きっきりで全ての作業に関わっているのは、班活動はなりたない。

「スカウトは快活である」
進んでものごとを行えるようになろう。

ただいま「立ちかまど」制作中



<台風15号の災害について> 「そなえよつねに」

災害は突然やってくる。

スカウトたちに聞くと、自宅の被災、停電、断水、通信不通などがあって大変だったとのこと。

野営場や林道も高木や竹が倒れ、復旧には大変な労力がかかっている。

約一か月たった今でも、被災の後片付けに困っているお年寄りがいたりするため、ボランティアが手伝いに入っている。

今後30年以内に大地震が起きる可能性が高いと、今年2月に国が発表している。

あらためて、この災害について何を考え備えるのか。

スカウト諸君へ

10月の隊活動予定

- テーマ : 風をうけて
- 活動目標 : ・班活動を通じて、自分の役割と責務を果たすことを学ぶ。
・自ら考え判断し決断する力を養う。
- プログラム : サイクリング
- ソング : どこまでもゆこう P55、わが旗かざし P52
- 当番班 : ハヤブサ班

日時	場所	集会	内容
10/6 (日)	上総更級公園	奉仕活動	国府祭り清掃奉仕
調整中	姉崎公民館	班長会議、班長訓練	サイクリング計画等
未定	未定	班集会	
10/20 (日)	成田空港～野営場	隊集会	サイクリング
10/27 (日)	永徳寺	講話会	写経及び講話

保護者の皆様へ

「スカウト進級手帳」と「進歩の手引き」をスカウトは所持しており、当該手帳等と班長会議等で提案されたスカウトのニーズに基づき、毎月の活動を計画・実施し、評価・改善を行っています。そして、行った活動に対して進級課目のサインを班長が行うのですが、活動だけではサインが進まない部分があったり、自発的に「説明」や「やって見せる」ことが必要な部分もあります。

手帳や手引きに書いてある内容は、大人が見ても興味深いところもあります。スカウトと一緒に読んでみませんか。そして、少しでも背中を押してあげてください。

「スカウト運動」 E.E.REYNOLDS より(一部加筆修正要約)

～最初の立案～

ボーイスカウトの創業者であるベーデン＝パウエルは、1907年の夏にイギリスのブラウンシー島での実験キャンプに基づき、1908年にスカウティング・フォア・ボーイズを出版し、ボーイスカウト運動が始まったが、それ以前の長きにわたりドイツやアメリカの少年団体について研究している。

1906年にはアメリカにおいてシートン(有名な動物記の著者、アメリカ連盟初代団長)と面会し、「自分の考えに近い発見することができた」としている。これらの研究をもとに、少年たちに観察、追跡、機敏さ、規律、独立独行の精神、自己犠牲、愛国心等を教え、役立つ人に育つようスカウティングという活動を起こしたものである。